令和５年度　学校経営方針　　（R5.4.1）　我孫子中学校

１．学校教育目標

**「社会の変化に主体的に対応し、**自ら学び、豊かな心でたくましく生きる人間」の育成

◎重点目標　　**「社会で生きる力の育成」　…　『自律』と『協働』**

　　　　〇自律…自分で考え、判断し、行動する（力）

　　　　〇協働…考え方の違いを乗り越え、目的や目標の達成に向けて、

協力して取り組む（力）

　　　※上記目標達成に向けて基盤となる人間性の育成

○「多様性を認める心」…考えや意見、立場の違いを認め、対話を通して理解することで、個を生かし、新たな創造につなげようとする。

▼生徒に向けた言葉…「違いを認める」

○「主体的に取り組む姿勢」…当事者意識を持って学校生活を送り、積極的に課題発見・解決を図ることでよい良い状態を目指そうとする。

▼生徒に向けた言葉…「自分事として取り組む」

○「寛容な心で接する態度」…自他を大切にし、広い心で相手を受け入れたり、許したりすることで、良い関係を構築するようにする。

▼生徒に向けた言葉…「広い心で接する」

２．目指す生徒像（下記①②③は職員の意見を取り入れた新しい生徒像）

 ① 思いやりを持って互いを尊重し、支え合い、学び合う生徒

② 自ら気づき、考えて、行動できる生徒

③ 確かな学力と社会性を身に付けた生徒

④ 夢と希望を持ち、努力する生徒

３．重点的取り組み

 （１）主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善により、学力（知識・理解、思考力・判断力・表現力、主体的に学習に取り組む態度）向上を図る。

（２）探究的な学習を通して、言語能力や情報活用能力、問題発見・解決能力を育成する。

その際、タブレット端末等、ICT機器を効果的に活用する。

　（３）部活動や委員会活動、行事等の活動に主体的に取り組むことを通して、粘り強さや責任感、自己肯定感、自己有用感、リーダーシップ、チームワーク、思いやり等の人間性を高める。

 （４）体験活動を重視し、勤労観・職業観を育むキャリア教育を推進する。

　（５）自己決定の機会や共感的雰囲気を大切にし、信頼関係を基盤にした生徒指導を行う。

 （６）全教育活動を通して命の大切さや多様性の尊重を伝えると共に、道徳的実践力の育成と豊かな人間関係づくりを推進する。

 （７）特別支援教育の推進、悩みを持つ生徒への教育相談の実施、長欠（不登校）生徒への対応強化を図る。

 （８）家庭や地域社会と連携・協力し、安全で安心な信頼される学校づくりを推進する。

　（９）学校の働き方改革や新しい部活動の在り方を通して、職員及び生徒の心身の健康を大切にすると共に、職員のワークライフバランスの実現を目指す。

　（10）必要な感染症対策を施しながら、生徒の学びの充実を図る。